

令和7年度 まるっと安芸中野 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ 商店会や地域団体との協働により、地域経済の活性化と住民交流の拡大につながった。
・ 駅前空間の明るさ向上により、地域の安全性向上および防犯効果につながった。
・ 次世代の担い手育成につながり、将来的な地域行事の継続基盤が強化された。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	駅前のイルミネーションの設置	(8)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和8年1月31日	
(2) 実施場所	JR 安芸中野駅前	
(3) 参加者数	20 人（設置者）来場者 500 人/日	
(4) 主催団体	団体名 中野駅前商店会	
4 取組内容	① JR 安芸中野駅前にイルミネーションを設置し、冬季における地域の賑わい創出と駅前空間の魅力向上を図った。あわせて点灯式や関連イベントを実施し、地域住民が集う機会を創出した。 ② 「まあよりん祭や」を開催し、地域団体・商店会・企業等と連携したステージ発表や出店を行い、多様な主体が参画できる場を構築した。 ③ 子どもや地域住民が設営・運営に参画する体制を整え、地域参加型の事業として実施した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ① 冬季に縮小傾向にある地域活動の活性化を図り、駅前を中心とした地域の賑わいを再生する。 ② 駅前の明るさ向上により、防犯意識の向上および事故防止等の安全対策につなげる。 ③ 子どもや若年層が地域行事に主体的に関わる機会を創出し、郷土への愛着や帰属意識を育む。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ① 商店会や地域団体との協働により、地域経済の活性化と住民交流の拡大につながった。 ② 駅前空間の明るさ向上により、地域の安全性向上および防犯効果につながった。 ③ 次世代の担い手育成につながり、将来的な地域行事の継続基盤が強化された。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
		アイテムを選択してください。	
		なし	特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。

令和7年度 まるっと安芸中野 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・町内会同士の連携が強化され、地域全体の協力体制の向上につながった。
・伝統文化の継承と地域アイデンティティの維持につながった。
・新たな参加者もあり、今後の地域活動の裾野が広がった。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	とんど祭り	(8)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年1月1日 ～ 令和8年1月31日	
(2) 実施場所	7町内会の近くの田んぼ	
(3) 参加者数	473人	
(4) 主催団体	団体名 まるっと安芸中野	
4 取組内容	① 中野学区内の町内会で開催されたとんど祭りを支援し、学区全体への周知および広報活動を実施した。 ② 食材費の一部を支援し、各町内会が継続して実施できる環境を整えた。 ③ ホームページを活用し、地域外住民も含めた参加促進を図った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ① 継続が困難になりつつある伝統行事を支援し、地域文化の継承を図る。 ② 多世代が参加できる地域行事としての位置付けを強化する。 ③ 町内会単位にとどまらない学区全体の一体感を醸成する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ① とんど祭りのあり方を議論する機会ともなり、町内会同士の連携が強化され、地域全体の協力体制の向上につながった。 ② 伝統文化の継承と地域アイデンティティの維持につながった。 ③ 新たな参加者もあり、今後の地域活動の裾野が広がった。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
		アイテムを選択してください。	
		なし	特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。

令和7年度 まるっと安芸中野 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・地域全体の賑わい創出と交流人口の拡大が図られた。
・団体間の連携が強まり、地域運営体制が強化された。
・将来的な地域行事の担い手育成につながった。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	まるっと安芸中野夏祭り	(8)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月26日	
(2) 実施場所	中野小学校グラウンド	
(3) 参加者数	1,000人	
(4) 主催団体	団体名 まるっと安芸中野	
4 取組内容	① 中野小学校グラウンドにて大規模夏祭りを開催し、地域住民が一堂に会する交流機会を創出した。 ② 地域団体のステージ発表を設け、それぞれの活動内容を広く周知できた。 ③ 高齢者や障がいのある方への移動支援を実施し、誰もが参加しやすい環境を整えた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ① 多世代交流を促進し、地域のつながりを強化する。 ② 地域団体の活動発表の場を確保し、団体間連携を深める。 ③ LMOの活動を広く周知し、地域住民の理解を促進する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ① 地域全体の賑わい創出と交流人口の拡大が図られた。 ② 団体間の連携が強まり、地域運営体制が強化された。 ③ 将来的な地域行事の担い手育成につながった。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
		アイテムを選択してください。	
		い。	特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。
		なし	

令和7年度 まるっと安芸中野 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

幅広い世代の住民の参加を促す事ができ、世代間の交流が深まる機会を作り出すことに寄与することができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	中野学区民運動会の準備事業	(8)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年1月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	中野小学校グラウンド	
(3) 参加者数	50人	
(4) 主催団体	団体名 中野地区連合町内会	
4 取組内容	・ 令和8年4月に実施予定の町民運動会について、以下の取組みを行った。 ・ 広く住民へ町民運動会の周知をした。 ・ 町民運動会に必要な備品を購入した。(消耗品、ビブス、賞品等) 【町民運動会の概要】 ・ 地区ブロックごとの小学生から若年を対象とした男女別リレー ・ 小学生・未就学児別のかけっこ ・ 高齢者対象の満水リレー ・若者対象のマラソン 等々	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・ こどもから高齢者まで幅広い世代が参加できて、地区をあげた運動会を開催することで、地域全体の絆を深める。 ・ 運動会の準備や運営を地域住民と協力して実施することで、地域の一体感を高める。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ・ 幅広い世代の住民の参加を促す事ができ、世代間の交流が深まる機会を作り出すことに寄与することができた。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
		アイテムを選択してください。	
		なし	特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。

令和7年度 まるっと安芸中野 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

4回企画会議を開催し、新規イベントのPRに向けての取り組みを行ったが、具体的な企画に至らず、広報資料の制作までには至らなかった

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	新規イベントの企画・広報	(8)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月22日 ～ 令和7年11月12日	
(2) 実施場所	慈楽福祉会中野事務所地階	
(3) 参加者数	20人	
(4) 主催団体	団体名 まるっと安芸中野	
4 取組内容	・企画会議を開催し、新規イベントのPRに向けての取り組みを行う。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	賑わいのあるイベントは、既存の次年度4月開催の学区民運動会の他、6月開催のまるっと安芸中野ふれあい祭り、12月開催のまあよりん祭りで代替えされる見込み	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	新規イベント開催による多世代の住人の交流や、地域の活性化は、2026年6月開催のまるっと安芸中野ふれあい祭りや、キャラクター ロゴの募集に代替えされ、効果を生むと思われる。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
		アイテムを選択してください。	
		なし	特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。

令和7年度 まるっと安芸中野 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・地域行事における人的支援体制が強化された。
・中学生の居場所形成と自己肯定感の向上につながった。
・地域への帰属意識や社会参画意識が醸成された。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	中学生ボランティアチーム立ち上げ	(8)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	地域の各所	
(3) 参加者数	20人	
(4) 主催団体	団体名 まるっと安芸中野	
4 取組内容	① 中学生ボランティアチームを設立し、地域行事や防災活動等への参加機会を提供した。 ② 地域行事の運営補助や企画参画を通じて、実践的な活動経験を積む場を整備した。 ③ 毎月2回程度の定期的な会合や研修を実施し、地域理解やコミュニケーション力の向上を図った。 ④ 来年度中野で行われるイベントに向けた準備を行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ① 中学生が地域活動に主体的に参画できる機会を創出する。 ② 地域住民との継続的な関係性を構築する。 ③ 将来的な地域活動の担い手育成を図る。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ① 地域行事における人的支援体制が強化された。 ② 中学生の居場所形成と自己肯定感の向上につながった。 ③ 地域への帰属意識や社会参画意識が醸成された。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
		アイテムを選択してください。	
		なし	特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。

令和7年度 まるっと安芸中野 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ 定期的な交流機会が生まれ、地域の見守り機能が強化された。
・ 子育て支援や高齢者支援の一助となった。
・ 地域福祉の向上と安心感の醸成につながった。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	なかのくじらのおびれ食堂	(8)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	毎月第3日曜日	
(2) 実施場所	ケアハウス安芸中野地下1階地域交流ホール	
(3) 参加者数	1,000人	
(4) 主催団体	団体名 なかのくじらのおびれ食堂	
4 取組内容	① 月1回の食事提供を実施し、地域住民が気軽に立ち寄れる場を提供した。 ② 食事を通じた多世代交流の機会を創出した。 ③ 喫茶コーナーや体験企画を併設し、参加型の交流の場を広げた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ① 孤食や孤立の防止を図る。 ② 子育て世帯や高齢者の交流機会を確保する。 ③ 地域内のつながりを強化する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ① 定期的な交流機会が生まれ、地域の見守り機能が強化された。 ② 子育て支援や高齢者支援の一助となった。 ③ 地域福祉の向上と安心感の醸成につながった。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
		アイテムを選択してください。	
		なし	特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。

令和7年度 まるっと安芸中野 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・災害発生時の対応力向上につながった。
- ・顔の見える関係づくりが進み、地域防災力が強化された。
- ・子ども世代への防災意識の定着が図られた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	(防災・防犯・交通安全) 安全・安心なまち起こし中野	(8)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月 ～ 令和8年3月	
(2) 実施場所	地域の各所	
(3) 参加者数	50	
(4) 主催団体	団体名 まるっと安芸中野	
4 取組内容	① 防災セミナーを開催し、地域住民に対する防災知識の普及を図った。 ② 防災・防犯団体との連携会議を実施し、情報共有と役割分担の明確化を行った。 ③ 小中学生を対象としたチラシ配布による啓発活動を実施し、次世代への防災意識の継承を図った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	① 安心安全なまちづくりを推進する。 ② 地域住民の防災・防犯意識を高める。 ③ 関係団体間の連携体制を強化する。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	① 災害発生時の対応力向上につながった。 ② 顔の見える関係づくりが進み、地域防災力が強化された。 ③ 子ども世代への防災意識の定着が図られた。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
		アイテムを選択してください。	
		なし	特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。